

# 学生担当者報 2

発行 / 天理教学生担当委員会 発行責任者 / 清水慶政 編集責任者 / 中山祥吉

TEL 直通: 0743-63-2489 FAX 0743-62-5780 E-mail tsa@tenrikyo.or.jp

TSA Website https://tsa.tenrikyo.or.jp Happist https://happist.net

Vol. 432  
立教 186 年  
2023 年  
1 月 25 日発行

## お知らせ

### 二月例会

期日…立教 186 年 2 月 25 日  
時間…15 時 30 分受付 16 時開始  
会場…教庁 4 階講堂

### 学生層育成者講習会 日程・会場案内

教区	期日	時間	会場
滋賀	2 月 2 日	11 時～	教務支庁
大分	2 月 3 日	10 時～	教務支庁
京都	2 月 11 日	13 時～	教務支庁
鳥取	2 月 28 日	13 時 20 分～	教務支庁
直属			
網走	2 月 12 日	9 時 30 分～	大教会
松阪	2 月 20 日	13 時～	大教会
笠岡	2 月 21 日	11 時 30 分～	大教会
双名島	2 月 22 日	11 時 30 分～	大教会
生野	2 月 23 日	11 時 30 分～	大教会
越乃國	2 月 23 日	12 時～	大教会

## 報告

### 十二月例会

中和 2 月 24 日 11 時 30 分～ 大教会  
去る 12 月 25 日、教庁 4 階講堂において「12 月例会」を開催。出席は 21 教区、86 直属。

### 人事

《立教 185 年 12 月 25 日付》

【直属学生担当委員長辞令交付】

- ・柴垣 正典 (飾東・飾保)
- ・植中 吉之 (島ヶ原・柳生)
- ・山本 正 (淺草)
- ・藤原 祐記 (社・因美)
- ・森田 治信 (池田・庄内)
- ・下西 華代 (京城・大石橋)
- ・矢部 博之 (岡山・岡水島)
- ・松原 清晃 (鎮西・大中心)

### 業務記録

《立教 185 年 12 月 16 日～186 年 1 月 15 日》  
12 月 24 日 担当者活動部部会

25 日 委員会 例会

広報室会議

1 月 5 日 大学生おせちひのきしん

(～7 日)

担当者活動部部会

学修部部会

6 日 広報室会議

7 日 学修高校の部研究室

8 日 委員会

人材育成部部会

春の学生おぢばがえり

プロジェクトチーム会議

9 日 学修大学の部研究室

学修高校卒業生コース研究室

10 日 学修部部会

学生連絡会

13 日 勉強会チーム会議

14 日 まなびば天高トライアル

## 「ひのきしんって何？」



「ちょっとひのきしん頼むわー」  
「はいー(またひのきしんかよ、めんどくせー)」  
私たちの日々によくある(?)  
一コマであります。

「ひのきしん」とは、「親神様のご守護に感謝をささげる自発的な行為」(天理教ホームページより)であり、本来は主体的に、喜び心いっぱいに行っていたり、行いやすいです。しかしながら、実際のところは「しなければならぬ作業」のような意味でついその言葉を使ってしまうことも多いのではないのでしょうか。

きしんとは何か、ひのきしんをつとめる心とは、そしてそれを 4 泊 5 日の限られた時間の中で学生たちに伝えるためにはどうしたらいいのだろうか。開催に向けて、学生担当委員会の面々が総力を上げて考え、必死で作り上げたプログラムに沿って、本番が進んでいきました。

そして迎えた 4 日目、学修のメインプログラムである神殿でのひのきしん。私はスタッフの目印である青ジャンを着て、各現場を見回りに行きました。私たちが伝えようとしたひのきしんの心は学生たちに伝わったのだろうか、学生たちはどんな顔でこの時間を過ごしているだろうか、という期待と一抹の心配を持って、「ありがとうございます！」  
「ひのきしん、楽しいっす！」  
心配をよそに、私の目に飛び込んできたのは、こちらの目を見て笑顔と大きな声で挨拶してくれる、そ

学生生徒修養会部 委員

東井 申雄

令和 5 年 学生担当委員会 活動方針  
「教祖を慕い、ひながたを辿る喜びを共に味わおう」



## 「大学生おせちひのきしん」開催報告

## 「立教百八十六年 春の学生おぢばがえり」決起の集い 開催報告

天理教学生会では、12月24日、25日の2日間に渡り、第2母屋を主な会場に「立教186年 春の学生おぢばがえり」決起の集いを開催し、総勢120名の学生が参加しました。（教区20団体42名、直属21団体31名、学生スタッフ47名）なお、参加者は新型コロナウイルス感染症対策のため本部施設での合宿体制は取らず、各詰所などから参加しました。

参加した学生は、まず始めに春学についての理解を深めるため、紙芝居を用いてこれまでの歴史を振り返り、続けて、真柱様のお言葉がお道を信仰する学生にとってどういったものであるかを考えました。また、4年ぶりに行う「直属アワー」に向けて、教会につながるこの大切さを話し合いました。

た。

その後は、スローガン「次代を担うようぼくへ」について考えた。大岩恵奈実行委員長より今回の開催に対する想いを聞いた。春学など、春学に向けての機運を高めました。

2日目には、東講堂にて「全体アワー」と称した交流の場を持ち、春学に対しての疑問や悩みを実行委員会や各学生会に問いかけ、より充実した春学となるよう、意見交換をしました。

最後には、2日間のプログラムで感じたことを振り返り、春学に向けてそれぞれがどういった心持ちで臨むか決意をし、今回の決起の集いを終えました。

1月5日〜7日、新春の親里で3年ぶりに開かれた「お節会」に合わせて天理市に在住の大学生などを対象に、日帰りで「大学生おせちひのきしん」を募集しました。3日間の内、1日だけの参加も可能でしたが、多くの学生が複数日に参加し、計47名がひのきしんに励みました。

参加した学生は、テント会場にて手指のアルコール消毒の補助や帰参者数の計上、場内誘導などのひのきしんをとめました。一人でも多くの方に喜んでいただけるよう、おもてなしの心遣いを大切に帰参者と接しました。そして、帰参者が喜ぶ姿を見て、信仰の喜びを味わったようでした。

## 青空

昨年の学修大学の部のテーマは「ひのきしん」でした。スタッフ事前研修会では、先生のお話を聞いたり、練り合いをしたりひのきしんについて深く考えることができました。

何のためにひのきしんをするかという話の中で、「理づくり」「徳積み」「伏せ込み」という言葉が印象に残りました。どれも似ているようで違う意味がある気もして、どう違うのだろうと疑問が生まれました。そこである先生に質問をしてみました。すると先生は、「どう違うかは自分で実践して確かめてみたら」と仰いました。えらい宿題をもらってしまったと思いましたが、せつかなので自分なりに3つ決めて実践してみることにしました。

そして迎えた本期間。正直言葉の違いは全く分かりませんでした。そのことを先生に言う。「それでいい、意味が分からなくても実践してみることが大事なんだよ」と教えていただきました。確かに実践したことで学修に向けて、自分なりに心の準備もできた気がします。

今年ももうすぐ学修大学の部が開催されます。まずは自分から教えを実践し、信仰の喜びを学生さんに伝えていきたいです。

人材育成部部員 山田のぞみ



QRコード読み取り

# 明日につながる 学生WEBSITE Happist

<https://happist.net>

- お道の教えや心にグッとくるお話をご紹介
- おぢばの行事情報や各地の学生会情報も充実
- 「Happistスマイル」では学生の笑顔をお届け

学生に手渡しできるリーフレット  
**HAPPIST [NOT] NET**

毎月25日発行。例会資料としてお配りしています。  
部数のご変更は学生担当委員会事務局まで。